

令和7年度 第3回 サービスコンテスト 開催

～次世代のプロフェッショナルを目指して～

木テ短通信

十一月七日(金)、「第三回サービスコンテスト」を学内にて開催された「バンケットサービスコンテスト」では、「一年生混合子一性を競いました。今回は「接客技術や言葉遣い、外国語」(一年生語・韓国語での接客力等、プロフェッショナルとしての自覚と自信現場で役立つスキルの向上を図る」とをテーマに個人戦を実施による一次選考、二次の実技選考を経て、八名の選手が本年実験課題「モニングサービス」に準じて、お客様のお迎えから次にブルセッティングまでの一連のサービスを八分間で競いました。春二月に開催されるサービスコンクール全国大会に出場します。



言葉と所作の大切 再認識しました



最優秀賞 【2年生の部】

た。昨年は本選に出席できず、悔い思いをしました。その経験を糧に、今年は「言葉と所作を丁寧に」「笑顔を忘れずに」「程よい緊張感を持つこと」を意識して取り組みました。練習を重ねる中で、まず直面したのは言語の壁です。今年から始

二年 迫中 崎さん
(指宿商業高校卒)
「訓練先」鹿児島サンロイヤルホテル
(カ)エレクトラン・トリアシ

Page 10



まつた韓国語の授業では、覚えることが多く、苦労しましたが、友達と一緒に積極的に会話を重ねることで、次第にスムーズに話せるようになります。また、サービス面では、細かな所作や気配りに目を向け、丁寧さを追求しました。本選当日はとても緊張しましたが、不思議とその緊張を楽しむことができました。その気持ちの余裕が、最優秀賞という結果につながったのだと思います。結果

夢と希望をかなえる場所
未来につながる二刀流

発表の瞬間は、驚きと喜びが一気に押し寄せ、しばらくは実感が湧きませんでした。今は、二月に行われる全国大会に向けて気持ちを新たにしています。未知の世界に挑戦する覚悟を持ち、さらに努力を重ね、自信を持つて臨みたいと思います。



笑顔を意識した
サービスができました

最優秀賞をいただきありがとうございました。練習を始めた頃は、実技課題に十分以上費やしてしまい、規定の八分以内で終わらせるのはとても無理だと思っていました。クラスメイトと朝や放課後に練習したおかげで八分間で終わらせることができた時は、継続の力を感じました。普段の訓練ではフロントを担当しているのでサービスをするのはとても不安



笑顔の接客を大切に
したいです



サービスコンテストで優秀賞をいたぐりで、大変嬉しいと思います。英語と韓国語での接客は覚えることが多く、最初は不安や戸惑いもありました。が、本選に進めたことが自信につながり、十分な励みになりました。



企業訓練で得た 自信と学び



み重ねてきた経験が支えとなり、最後まで筆顔を意識して対応することができました。今回の経験を通して、自分の課題や成長を実感でき、レストランサービスへの自信にもつながりました。最優秀賞には届きませんでしたが、全力を出し切ったことで悔いはありません。今後の企業訓練や実習でも、この学びを生かしてさらにスキルアップを目指していきたいと思います。



【レストランサービス】

【レストランサービス
技能検定(HRS)】
ホテル(工)やレストラン、
(S)業界で働くスタッフの
料飲サービスの知識
と技術が身に付いてい
ることを証明する料飲
サービス唯一の国家検
定。学科試験及び
技試験の合格者は「
ストランサービス技能
士」としてサービス業
界で活躍しています。

